



「今日是一日“ビオラ”三昧」

NHK-FM 2月24日(月・振休) 午後0:15~6:50

※ニュース中断あり

弦楽器の二大スター、バイオリンとチェロに挟まれ、中音域を担う“ビオラ”は、その“地味さ”ゆえ永らく脚光を浴びることはありませんでした。しかし、20世紀に入り伝説的な演奏家の登場によって“ビオラ”の可能性は掘り起こされ、花形楽器としての地位を確立。クラシックのみならず、ロックやポップスの領域でもその活躍の場を広げています。

そのムーブメントの中心にいるのは日本人！ベルリン・フィルとロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団のビオラ首席奏者はいずれも日本人。国内では、シンガーソングライターの槇原敬之が「みんなのうた」のために作詞・作曲した「ビオラは歌う」が大ヒット。さらに「SDA48」なる“ビオラ”のみの演奏集団が突如現れ、ロックやポップスの名曲を大胆にアレンジして“爆演”を聴かせ、熱視線を浴びています。

番組では“時代の寵児”となった“ビオラ”の魅力を徹底解剖。復権への足掛かりとなった歴史的な名録音から伝説のVIOLISTによる超絶的な名演奏までたっぷりご紹介します。また、76歳を迎えて、今なお世界の第一線で活躍する“ビオラ・レジェンド”、今井信子さんに独占インタビューを敢行。自身のキャリアの重要な岐路となった“運命の一曲”について語っていただきます。さらにスタジオには話題の「SDA48」が登場、結成時の裏話なども交え、驚きの生演奏をラジオ初披露します。

このディープな6時間半を聴けば、あなたもすっかり【魅惑の楽器・ビオラ】の虜になるはず！！

【スタジオゲスト】

片山杜秀（音楽評論家）、須田祥子（東京フィルハーモニー交響楽団首席ビオラ奏者）、SDA48（ビオラ演奏集団）ほか

【司会】武内陶子アナウンサー